

課題別委員会「自動車の自動運転の推進と社会的課題に関する委員会」（第24期・第1回）  
議事要旨

1. 日時 平成30年5月2日（水）10:00～12:15

2. 場所 日本学術会議6階 6-C(1)(2) 会議室

3. 出席者（敬称略）

【委員】遠藤、渋澤、浅間、大倉、柴山、唐沢、佐倉、須田、永井、野口、藤井、松岡、水野、宮崎、向殿、有本、鎌田【オブザーバ】渡辺副会長

4. 議題

[1] 自己紹介

自己紹介を行った。

[2] 委員長の選出と副委員長・幹事の指名

永井委員が委員長に選出された。永井委員長により、大倉委員が副委員長に、鎌田委員と宮崎委員が幹事に指名された。

[3] 本課題別委員会の趣旨説明

本課題別委員会の経緯と趣旨が説明された。これに対して、自動運転が人間や社会に与える影響、一般ユーザ側からの意見を聞く仕組み、ドローン・海上交通・農業機械等との連携について意見交換がなされ、本課題別委員会で、さらに議論していくこととなった。また、日本学術会議として、タイムリーに自動運転に係る政策に反映させていくことの重要性を確認した。

[4] 企画分科会の設置について

自動運転企画分科会の設置について審議した結果、分科会ではなく、拡大役員会を設置することに合意した。本課題別委員会で実質的な議論が行えるよう、拡大役員会は、適時に機動的に議題準備を行う機能等を担うことに合意した。

[5] 安全工学シンポジウム

講演とパネルディスカッションから成る企画案に合意した。

[6] 今期の活動方針等の審議

今期の活動方針を審議するにあたり、自動運転に関する政府の動向、自動運転の社会実装に向けた企業・研究機関等の動向、内閣府SIPの最新動向が説明された。また、SDGsでの関連事項の紹介がなされた。これに対して、自動運転の障害者への貢献、イノベーションのリスク評価、社会受容性の醸成方法、サイバーセキュリティの確保、安全学やステークホルダーを念頭に置いた検討、技術面でのブレークスルーや学問のフロンティアといった面からの議論の必要性について意見交換がなされた。今期の初期の段階では、このような議論を深めていくこととなった。

[7] その他

- ・ 議事要旨の作成は、両幹事が担当すること、議事要旨に対する委員会の承認はメール審議で行い、最終的に委員長に一任とすることが了承された。
- ・ 委員の追加を議論した結果、渡辺副会長が候補者を推薦することを含めて委員長と相談することとした。

[8] 次回について

次回の日程は、幹事がwebシステムで調整をすることとなった。

(以上)